

2019年1月28日
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部

「もんじゅ」燃料体取出し作業の状況について(続報)

1月23日(水)、86体目の燃料体取出し作業を実施中、空の缶詰缶を地下台車から燃料出入機に移送した後、地下台車内の空気の入れ換え(ガス置換)を行おうとしたところ、11時25分頃にガス置換が開始されない事象が発生しました。

調査したところ、制御監視盤からの制御信号を地下台車に送る信号入出力装置から信号が発信されていなかったことを確認しました。その後、制御監視盤及び信号入出力装置を再起動し、地下台車のガス置換を行ったところ異常がなかったことから、原因は信号入出力装置内のデジタルインプットカードに偶発的な不調が発生したものと推定しました。

このため、当該カードを予備品に取替え、1月24日(木)10時21分から86体目の燃料体取出し作業を再開しました。

その後、制御監視盤等を再起動したことに伴い、バックアップ計算機からこれまでの燃料処理に関するデータを入力する操作を実施したところ、一部のデータについて手入力する必要があることが判明したため、作業を中断しています。

1月25日(金)、中断していた86体目の燃料体取出し作業については、作業ステップ毎に操作員が個別の制御盤を操作し、燃料池への移送を完了しました。

現在、燃料取扱設備の運転に必要なデータの入力作業を実施した上で、データの確認等の復旧作業を実施しています。

また、1月29日(火)から本格的な施設定期検査に移行するため、86体の燃料体取出し完了をもって今年度の作業を終了することとしました。

なお、残りの燃料体については来年度に処理する見込みであり、2022年度に燃料体取出し作業を完了する全体計画に変更はありません。

以上